

中部圏地震防災基本戦略の修正（最終とりまとめ）概要

東日本大震災の発生（平成23年3月11日）

「災害に強い国土づくりへの提言 ～減災という発想にたった巨大災害への備え～」(平成23年7月26日 国土審議会政策部会防災国土づくり委員会)
「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会 報告」(平成23年9月28日 中央防災会議)

「中部圏地震防災基本戦略【中間とりまとめ】」(平成23年12月27日 東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議)

3連動地震等の広域的大災害に対し、中部圏の実情に即した予防対策や応急・復旧対策などについて総合的観点から重点的・戦略的に取り組むべき事項を示す

「津波避難対策検討ワーキンググループ 報告」(平成24年7月18日 中央防災会議防災対策推進検討会議)
「南海トラフ巨大地震対策について(中間報告)」(平成24年7月19日 中央防災会議防災対策推進検討会議)
「防災対策推進検討会議 最終報告 ～ゆるぎない日本の再構築を目指して～」(平成24年7月31日 中央防災会議)
「南海トラフ巨大地震の被害想定について(第一次報告)」(平成24年8月29日 中央防災会議防災対策推進検討会議)

「中部圏地震防災基本戦略【最終とりまとめ】」

<修正のポイント>

- ①「優先的に取り組む連携課題」(10課題)の取組の成果と施策の反映 ⇒ アクションプランの策定
- ②「南海トラフの巨大地震の被害想定」報告などの反映
- ③「災害に強い国土づくりへの提言」との整合の再確認
- ④その他(「策定の前提」の追記)